

ホテル・旅館経営を応援する情報紙

国際ホテル旅館

INTERNATIONAL HOTEL MANAGEMENT 2021.11/20 第507号

発行所:国際ホテル旅館 〒104-0061東京都中央区銀座8-15-15(株)プライド産業新聞社内
発行人:米谷美咲 年間購読料11,000円(消費税込) TEL 03(6226)9580 FAX 03(6226)9578
https://ihr-news.jp

今号の主な内容

【今号のひと】

梅村真行氏

【グローバルゲイツ代表取締役社長】

【日本の清浄を世界へ】海外に現地子会社設立
七大陸への進出と500万人の雇用創出を目標に



広がる宿泊業のDX 価値向上の「基準」とは

- ◎業績や事業計画がスムーズにPMSの活用進む
- ◎客室キーの発行システム クラウド版が登場
- 帝国ホテル 東京の建て替え計画、新本館デザイン案発表
- マリノット 積水ハウス Trip Base道の駅プロジェクト第2弾「トイ・ストーリー」テーマのホテル 来年4月5日開業
- マニラの国際空港に隣接 1R内ホテル12月28日オープン
- 那覇・泊ふ頭ターミナルの閉館ホテル 後継事業者を募集
- リーガロイヤル28年ぶり海外出店 グアムにリブランド出店
- シンガポールのマダリン 来年3月にヒルトンに変更
- 温泉旅館の魅力をYoutubeで配信 新プロジェクト始動
- 規格外野菜の販売イベント 地元客との交流を生み出す「Suicaのペンギンルーム」10年ぶりに復活、予約完売
- 国内の旅行意欲高まる じゃらんリサーチセンター調べ

12月8日(水) 本紙主催オンラインセミナー

【ホテル・旅館の「サステナビリティ経営」】

◎「プラ資源循環促進法」法令&対策の最新情報

◎宿泊施設の具体的な取り組み・事例紹介

開催告知

受講無料

花盛り 宿泊業のITツール・システム



▲接客の品質向上にも業務効率化は重要(写真はイメージ)

コロナ禍を機に、ホテルや旅館の業務改革が進んでいる。非接触化の推進や政府・自治体の各種支援制度の充実などを背景に、独立経営のホテルや日本旅館などでも、新たにITツールやシステムを導入するケースが増えている。いまや、宿泊業に活用できるこうした製品・サービスは花盛り。スタッフによる接客を重視するホテルや旅館でも、バックワードの領域にシステムを導入することで、スタッフが接客業務により集中できる環境を整えることができる。

独立経営ホテルや旅館も導入を推進

接客業務により集中できる環境を整える

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除から1カ月が経過した。基本的な感染対策は継続して取り組むが、コロナ禍を機に業務改革が進んでいる。いまや、宿泊業に活用できるこうした製品・サービスは花盛り。スタッフによる接客を重視するホテルや旅館でも、バックワードの領域にシステムを導入することで、スタッフが接客業務により集中できる環境を整えることができる。

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除から1カ月が経過した。基本的な感染対策は継続して取り組むが、コロナ禍を機に業務改革が進んでいる。いまや、宿泊業に活用できるこうした製品・サービスは花盛り。スタッフによる接客を重視するホテルや旅館でも、バックワードの領域にシステムを導入することで、スタッフが接客業務により集中できる環境を整えることができる。

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除から1カ月が経過した。基本的な感染対策は継続して取り組むが、コロナ禍を機に業務改革が進んでいる。いまや、宿泊業に活用できるこうした製品・サービスは花盛り。スタッフによる接客を重視するホテルや旅館でも、バックワードの領域にシステムを導入することで、スタッフが接客業務により集中できる環境を整えることができる。

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除から1カ月が経過した。基本的な感染対策は継続して取り組むが、コロナ禍を機に業務改革が進んでいる。いまや、宿泊業に活用できるこうした製品・サービスは花盛り。スタッフによる接客を重視するホテルや旅館でも、バックワードの領域にシステムを導入することで、スタッフが接客業務により集中できる環境を整えることができる。

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除から1カ月が経過した。基本的な感染対策は継続して取り組むが、コロナ禍を機に業務改革が進んでいる。いまや、宿泊業に活用できるこうした製品・サービスは花盛り。スタッフによる接客を重視するホテルや旅館でも、バックワードの領域にシステムを導入することで、スタッフが接客業務により集中できる環境を整えることができる。

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除から1カ月が経過した。基本的な感染対策は継続して取り組むが、コロナ禍を機に業務改革が進んでいる。いまや、宿泊業に活用できるこうした製品・サービスは花盛り。スタッフによる接客を重視するホテルや旅館でも、バックワードの領域にシステムを導入することで、スタッフが接客業務により集中できる環境を整えることができる。

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除から1カ月が経過した。基本的な感染対策は継続して取り組むが、コロナ禍を機に業務改革が進んでいる。いまや、宿泊業に活用できるこうした製品・サービスは花盛り。スタッフによる接客を重視するホテルや旅館でも、バックワードの領域にシステムを導入することで、スタッフが接客業務により集中できる環境を整えることができる。

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除から1カ月が経過した。基本的な感染対策は継続して取り組むが、コロナ禍を機に業務改革が進んでいる。いまや、宿泊業に活用できるこうした製品・サービスは花盛り。スタッフによる接客を重視するホテルや旅館でも、バックワードの領域にシステムを導入することで、スタッフが接客業務により集中できる環境を整えることができる。

国際ホテル旅館 公式ウェブサイト

新URL ihr-news.jp

宿泊業者向けITソリューションの導入検討進む
直近半年間で問合せ件数は10倍に



代表取締役 梅村 孝徳氏

「ネットシスジャパン」
Core Touc
hは、筐体からソフトウェアまで自社開発。業界最安値の水廻りを実現。損耗性や操作性に優れた画面表示で、画面遷移やテザリングの対応も可能。



「Core Touc」導入後
の効率化は有効。これまで手入力や目視で行っていた作業、あるいは重い荷物運搬に繋がっていた作業にシステムや自動付箋機を取り入れることで、その作業に割いていた時間や手間を別のところに振り替え、スタッフの行動業務や効率化に馴染まない、と考えられるものも少なくない。

移行期間として飲食店などに設けられていた短時営業や酒類提供の自営業が10月上旬に解除され、コロナ禍の収束に向けて大きな一歩を踏み出した。本紙の取材では、隣県や近郊地域の宿泊旅行回復の動きがみられ、観光・リゾート地やシャトル客を取り込んでいる施設では予約が、週に近づくにつれて予約率は60%前後まで回復している。一方で、遠方の旅行のおひざしな旅行の回復は徐々に鈍く、特に都内や関西圏のビジネスホテルは苦戦を強いられている。

「コロナ禍で威力を発揮した地方都市のビジネスホテルに共通していたのは、明確なターゲット層を存在させたこと。特に、コロナ禍でも声を伸ばしていた製品やサービスを取り扱う企業は、従業員と顧客との関係性を築いていたが、集客の大部分をOTAや旅行会社経由にせず、自力集客を続けていたホテルは、一定の宿泊需要を取り込んできたように見受けられる。

チェックイン

移行期間として飲食店などに設けられていた短時営業や酒類提供の自営業が10月上旬に解除され、コロナ禍の収束に向けて大きな一歩を踏み出した。本紙の取材では、隣県や近郊地域の宿泊旅行回復の動きがみられ、観光・リゾート地やシャトル客を取り込んでいる施設では予約が、週に近づくにつれて予約率は60%前後まで回復している。